

皆さんに安全な水道水を届けるために

田原市では、効率的な事業経営のもと、将来にわたり、安全な水を供給し、災害時にも必要な水をお届けするために「新田原市水道ビジョン」に基づき、うるおいのあるまちの実現に向けて取り組んでいます。

電気計装設備の更新

赤羽根地区および渥美地区の通信設備を令和5年度に更新しました。この設備があることで、現地になくとも塩素濃度や配水池の水位などを常時監視できます。数値の異常が発生したときの警報装置も付いています。



ポンプ設備の更新

円滑に配水するために、蔵王加圧ポンプ場の送水ポンプを令和4年度に1台、令和5年度に1台、順番に更新しました。



老朽管の更新

古い水道管は、漏水や断水のリスクが高くなるため、災害に強い、新しい水道管に更新する必要があります。

田原市では、毎年約5億円の費用をかけて、古い水道管を地震に強い水道管に入れ替えています。市内の水道管は、40年以上使われているものの割合が5割を超えています。昔の水道管は地震に弱いものも多く、漏水事故を少なくするためにも、老朽管更新のスピードを速めていくことが重要です。



定期的に水質検査や機械の点検をしています

安全な水道水をお届けするために、定期的な水質検査をしています。また、機械の点検（施設のポンプから異音がないか、正常に稼働しているかなど）、電気通信設備の点検（配水池の水位や水の流量のデータが正確に送受信できているかなど）をしています。



▲技術指導を受ける水道課職員

また、豊橋市から技術指導を受けたり、公益社団法人 日本水道協会の講習に参加するなど、専門的な知識と経験を有する職員を育成しています。

水道は市民生活を支える重要なライフラインなので、少しの変化も見逃さないように毎日心がけています。

水質検査では、塩素濃度が適正であるかだけでなく、水の色が濁っていないか、異臭はしないかなど、安全な水道水を届けるために、数値に現れない変化も感じ取るようにしています。



水道課・藤城